

令和5年度 接続期カリキュラム研究推進地区 活動報告

【テーマ】 育ちと学びをつなぐ

初音ヶ丘地区

横浜市立初音が丘小学校

境木保育園

初音丘幼稚園

主な報告内容

1. 児童の実態と園での経験を踏まえた単元づくり
2. 園との持続的な交流と子どもの学び
3. 架け橋カリキュラム作成に向けて（職員連携）
4. 成果

1. 児童の実態と園での経験を踏まえた単元づくり

1年3組のトイレ



怖い...

3組のは お化け屋敷

1年1組・2組のトイレ



1組とキッズは綺麗

1組のトイレはイオンみたい



Hさん

1. 児童の実態と園での経験を踏まえた単元づくり

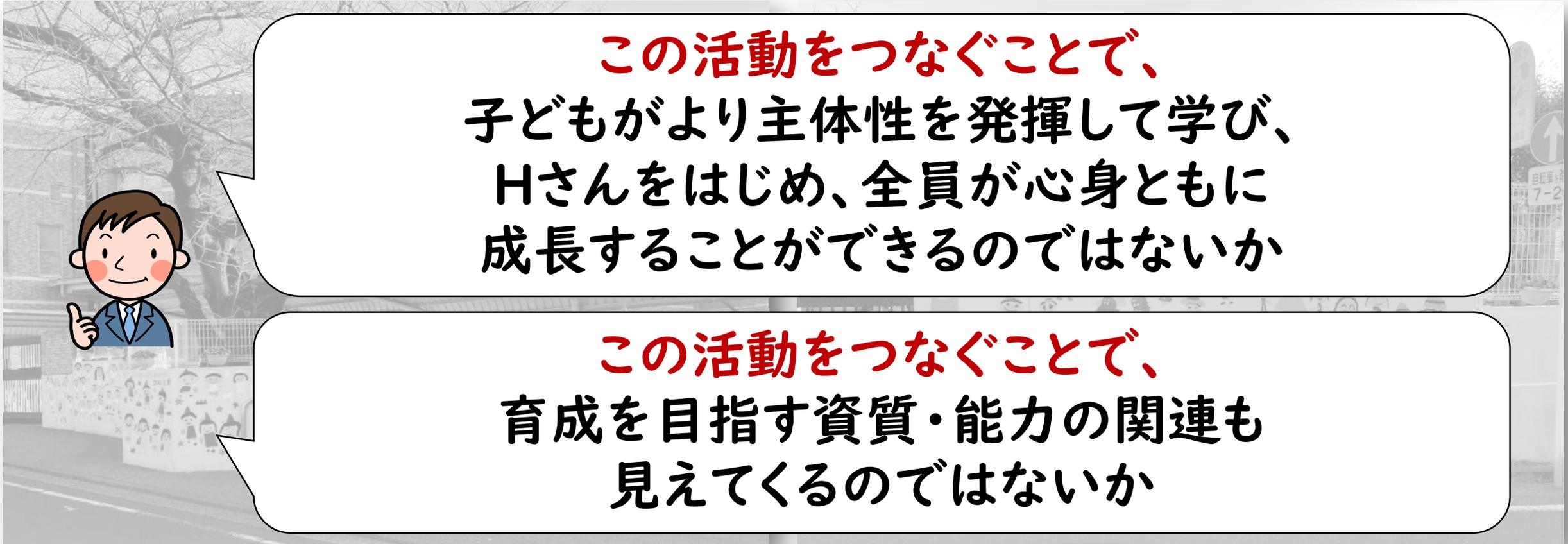
初音丘幼稚園の壁面



卒園前にクラス毎に園での思い出を描く活動

1. 児童の実態と園での経験を踏まえた単元づくり

初音丘幼稚園の壁面



この活動をつなぐことで、
子どもがより主体性を発揮して学び、
Hさんをはじめ、全員が心身ともに
成長することができるのではないか

この活動をつなぐことで、
育成を目指す資質・能力の関連も
見えてくるのではないか

卒園前にクラス毎に園での思い出を描く活動

1. 児童の実態と園での経験を踏まえた単元づくり

単元を貫く「ゴール」の設定

① 「困っている児童」の思いを撮影・共有

② 初音丘幼稚園の学びの接続



Hさん

3くみのトイレ ↔ 1くみ 2くみのトイレ

・こわい ・ホコホコ
・きたない ・イタスラもあよ
・くらい ・つめたい空気
・ぶきみ → おばけ

・きれい
・あかるい

イオンのトイレ

おばけやしき

どうしたらトイレのイメージをかえられる？

- ・ほりきをなくす
- ・みやさか先生のちからもかる
- ・かざりつけ $\left\{ \begin{array}{l} \text{テープ} \\ \text{おりがみ} \end{array} \right.$
- ・てん気をあかるくする
- ・かべのいろをかえる

えでみまもられているかんじ

スルー

① 校中の先生
② ぶく校中の先生
③ みんが先生

きんか をもらう

1. 児童の実態と園での経験を踏まえた単元づくり

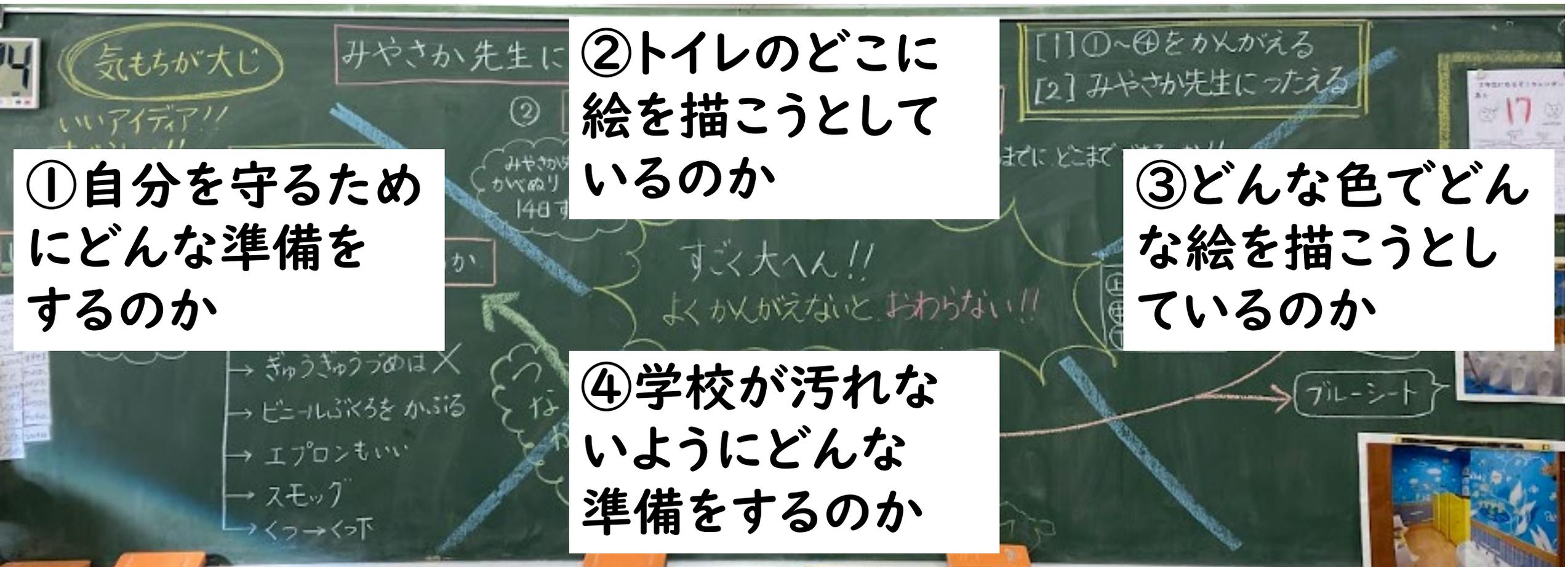
「やるべきこと」を整理する時間の設定

①自分を守るためにどんな準備をするのか

②トイレのどこに絵を描こうとしているのか

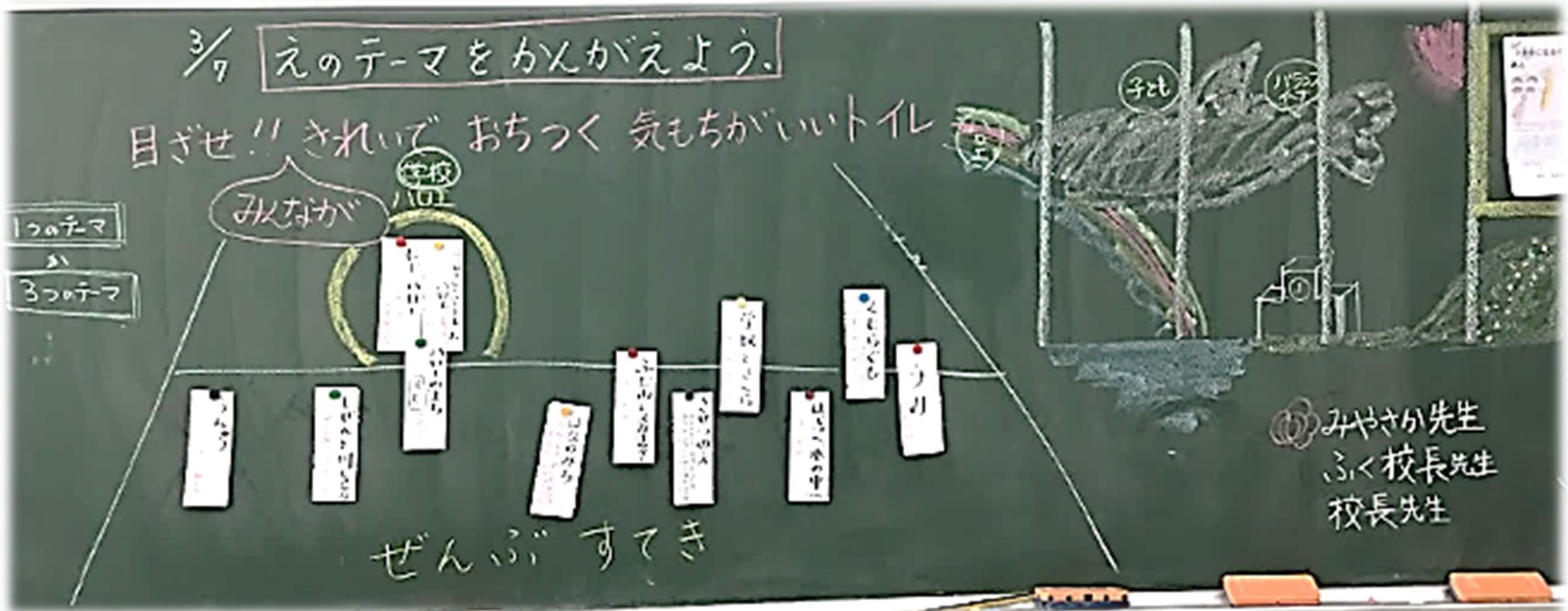
③どんな色でどんな絵を描こうとしているのか

④学校が汚れないようにどんな準備をするのか



1. 児童の実態と園での経験を踏まえた単元づくり

みんなの思いで創り上げるデザイン



1. 児童の実態と園での経験を踏まえた単元づくり

完成したトイレの様子



女子トイレ



男子トイレ

1. 児童の実態と園での経験を踏まえた単元づくり

単元終了後の振り返り

- 最初は、宮坂先生（学校用務員）もできるかなーと思っていたけど、本当にできたから、**1年3組ってすごいんだなー**と思った。だけど、これは、**みんなでやらなかったら絶対にできなかった**と思った。
- 友達のため、次の**1年3組のためだからこそ**、こんな素敵なきことができた。**考えていなかったらできなかった**んだらうな。
- 1組と2組にトイレを見せれたのも嬉しいし、**Hさんがトイレのドアを閉めれるようになったのがいちばん嬉しかった**。自分もトイレを使えて嬉しかった。夢が叶った。嬉しいこといっぱい!!**力を、息を合わせて、協力が生まれた**んだと思います。
- みんな（子ども）の力でできることがあるし、みんな（子ども）だけでできないときもあるから、一人でやめようとしな。真剣に、そこで立ち止まらない。止まったらそこで終わり。筆を止めない。みんなのおかげでここまでこれたし、完成できたからハッピー。完成できたから嬉しいし、楽しい。

2. 園との持続的な交流と子どもの学び



4月下旬～5月下旬
園の先生との学び

6月下旬
「よろしくね」の会

12月上旬
「あきまつり」

2. 園との持続的な交流と子どもの学び

初音丘幼稚園の活動にも関わる地域の方との交流

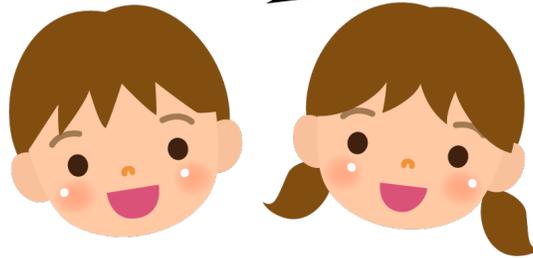


凧を1年生に
プレゼントしたい



5月2日
第1回凧あげ体験

冬だから、もう1回
凧あげしたいな



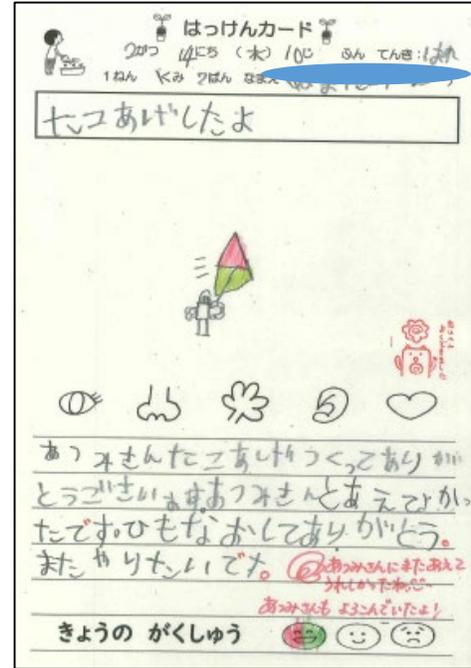
2月上旬
第2回凧あげ体験

2. 園との持続的な交流と子どもの学び

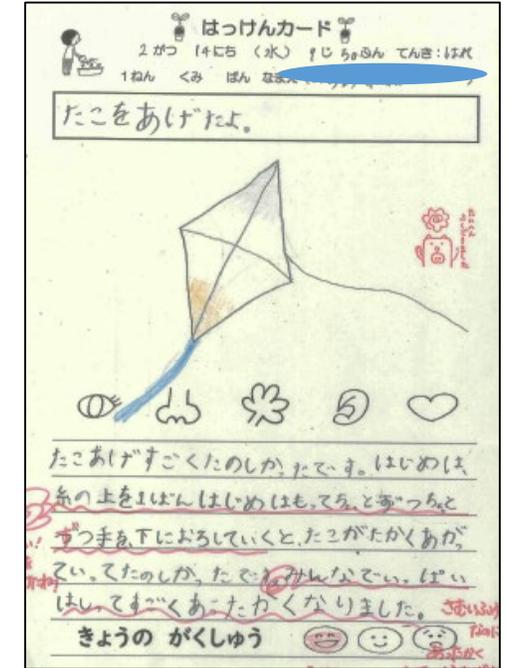
活動終了後の振り返り



凧あげがいっぱいあがって嬉しかった。いっぱい走って疲れた。凧が竹と糸と紙で作られているのを知ってよかった。また、やりたいです。



渥美さん、凧あげ作ってくれてありがとうございます。渥美さんと会えてよかったです。紐、直してくれてありがとう。またやりたいです。



いちばんはじめは糸の上を持ってちょっとずつちょっとずつ手を下におろしていくと、凧が高く上がって行って楽しかったです。みんなでいっぱい走ってすごくあつ美さんちになりました。

3. 架け橋カリキュラム作成に向けて（職員連携）

8月30日（水） 幼保小連携研修

幼保小連携研修

1 ねらい

園の先生、小学校職員で架け橋期の子どもたちについて話し合うことを通して、園での育ちや学びについて理解を深めるとともに、初音ヶ丘地区の架け橋カリキュラムを、国の動向・園や学校の活動を踏まえた上で考える。

2 日時・場所

8月30日（水） 15時～16時30分 初音が丘小学校 図書館

3 参加者

・本校職員・初音ヶ丘幼稚園職員・境木保育園職員・若菜保育園職員
・こども青少年局 田村憲一課長、鈴木暁範係長
・近隣の学校・園の先生方（どれだけ来られるかは未定です）

4 グループ

- ①テーマ「水遊び」（コーディネート：遠藤先生）
- ②テーマ「植物・野菜の栽培」（コーディネート：武田先生）
- ③テーマ「音楽・楽器」（コーディネート：酒井先生）
- ④テーマ「英語」（コーディネート：大場先生）
- ⑤テーマ「自然やものを使った遊び・造形遊び」（コーディネート：阪倉先生）
- ⑥テーマ「トラブル対応」（コーディネート：川井先生）

※お名前のない先生方は、それぞれ興味のあるグループをお選びいただき、ご参加ください。
※園の先生方におかれましては、なるべく分散していただくよう、ご配慮お願いいたします。

5 流れ

時間	活動内容	留意点
15:00	1. 挨拶と研修の主旨説明（相澤）	・上記ねらいについて説明
15:05	2. 校長先生のお話、ゲストの紹介 ・田村憲一課長、鈴木 暁範係長 ・初音ヶ丘幼稚園の先生方 ・境木保育園の先生方 ・わかば保育園の先生方 ・近隣の学校・園の先生方	・前に並んでいたいただき、各施設代表者1名が挨拶
15:15	3. 架け橋カリキュラムを考えてみよう ①架け橋期の説明と手順の説明 ②グループワーク	
15:55	③共有	・1グループ3分厳守
16:10	4. グループワークから見えた成果と展望 ・こども青少年局 田村憲一課長、鈴木 暁範係長	
16:25	5. 終わりの言葉（副校長先生） ・アンケートの入力	・Google フォーム

【ねらい】

園の先生、小学校職員で架け橋期の子どもたちについて話し合うことを通して、園での育ちや学びについて理解を深めるとともに、初音ヶ丘地区の架け橋カリキュラムを、国の動向・園や学校の活動を踏まえた上で考える。

【活動】

○架け橋カリキュラムを考えてみよう

- ①架け橋期の説明と手順の説明 ②グループワーク
③共有

○グループワークから見えた成果と展望
こども青少年局

田村 憲一課長、 鈴木 暁範係長

3. 架け橋カリキュラム作成に向けて（職員連携）

8月30日（水） 幼保小連携研修

植物・野菜の栽培

テーマ「植物・野菜の栽培」

現 状	
<p>マリーゴールド、アヒメオドリ、ペチュニア、アサガオ</p> <p>花壇、プランター、鉢</p> <p>水やり、日光、肥料</p>	<p>花壇、プランター、鉢</p> <p>水やり、日光、肥料</p> <p>観察、収穫</p>
共通点	相違点
<p>自分でできること</p> <p>目標に向かう</p> <p>地域とつながり</p>	<p>えらばない → 教師が決めたり</p> <p>アサガオ → 1人1つ</p> <p>(園も体)</p>

子どもが安心して、自己発揮するために

こうしてみよう(やり方)	大切にしたい力(具体的に)
<p>はじめに決めすぎない</p> <p>(虫、雑草、水やり、土)</p> <p>どうする?</p>	<p>長く続ける体質</p> <p>想いや願い(out!!)</p> <p>教師・保育者の環境づくり</p> <p>失敗しても、学びに変えられる</p> <p>すぐに調子よく学ぶ (教師・ホウ)</p> <p>おすまじ</p>

造形遊び

テーマ「造形遊び」

現 状	
<p>廃材を使用した造形遊び</p> <p>初音姫</p>	<p>廃材コーナーを設置</p> <p>活用して形からついたりものをつける</p> <p>おなをむきたり</p> <p>目的意識から</p>
共通点	相違点
<p>廃材活用</p>	<p>園と小学校での子どもの意識づけの違い</p> <p>子ども発信 ↔ カリキュラム</p>

子どもが安心して、自己発揮するために

こうしてみよう(やり方)	大切にしたい力(具体的に)
<p>「子どもの思いや願いにそった活動単元づくり」</p> <p>テーマを広くして</p> <p>(例) お店も開こう!</p>	<p>自由に発想できる力</p> <p>材を選択する力</p> <p>教師・保育者の環境づくり</p> <p>個々の興味を見取り</p> <p>ねばり強くたえる!</p> <p>待つ!</p>



3. 架け橋カリキュラム作成に向けて（職員連携）

8月30日（水） 幼保小連携研修～振り返り～

○幼稚園、保育園との違いに驚くことはありましたが、**子どもの自主性を高めるためにどのように手立てを打てばよいかを考えていく姿勢はどこも同じ**で意識も共有できているところに驚きと心強さを感じました。

○とても学びになりました。特に頭では「接続が大事」「年長が1年になるとまるで赤子のように扱うのはいかなものか？」と分かってはいたのですが、具体的に関わっている方のお話を伺って考えることは**「子どもを信じる」という根幹につながる**なあと改めて感じました。また、**環境づくりの点では、私にとっては幼保に学ぶことが多い**のだろうなと考えました。私自身は、**「子どもたちはできる」という基本の部分がそろっていることが一番大事**だな、とあらためて感じました。

4. 成果



4月下旬～5月下旬
園の先生との学び



交流の目的と内容に共感してくださった
若葉保育園の先生が新たに参加



↓
5歳児の交流も同様に拡充



6月下旬
「よろしくね」の会

12月上旬
「あきまつり」

4. 成果

8月30日(水) 幼保小連携研修

植物・野菜の栽培

造形遊び

幼保小連携について考える目的に
共感してくださった

仏向小学校・権太坂小学校・若葉保育園
の先生方が新たに参加

↓
架け橋カリキュラムについて検討

